

農村計画学会 2023 年度秋期シンポジウム（第 1 報）

災害対応委員会
秋期大会実行委員会

テーマ： 豪雨災害との共生を目指した農山村づくり（仮題）

日 時： 2023 年 12 月 10 日（日）

12 時 30 分～14 時 30 分（予定）

会 場： 茨城大学阿見キャンパス（土浦駅からバスで 15 分）

（オンサイトでの開催を予定しています）。

参加費： 無料

非会員にも公開（要：事前の参加申し込み）

趣 旨： 近年頻発する豪雨災害は、都市部はもとより農山村部においても甚大な被害をもたらしている。今年度の秋期大会の会場である茨城県においても、平成 27 年 9 月関東・東北豪雨で鬼怒川が決壊し、常総市において大きな被害が生じた（いわゆる常総水害）ことは記憶に新しい。こうした大水害への対策として、田んぼダムをはじめとする流域治水の取り組みやハザードマップの作成、土地利用規制や自主防災組織の結成、住民による避難計画の策定等、さまざまな対策が講じられており、これらについてはさらなる議論や効果検証等の蓄積が待たれる。加えて地域性に則した対策のプラットフォーム化や、地域防災の持続性など、さらなる課題も存在する。今回のシンポジウムでは、農山村における豪雨災害に関わる論点整理を行った上で、常総水害やその他の過去の水害からの教訓をもとに、今後も頻発するであろう豪雨災害との共生を目指した農山村づくりについて、農村計画学の視点から広く議論しようとするものである。

プログラム（予定）：

- 趣旨説明：福与徳文（茨城大学，秋期大会実行委員会委員長）
- 話題提供
 - (1) 農山村における豪雨災害に関する論点整理（仮）
柴田 祐（熊本県立大学，災害対応委員会委員長）
 - (2) 常総水害の発生状況と復旧・復興およびそこからの教訓（仮）
関係者（詳細未定）
- パネルディスカッション
 - ・ コーディネーター：柴田 祐（前出）
 - ・ パネリスト：福与徳文（前出），菊池義浩（仙台高等専門学校），鈴木孝男（新潟食料農業大学），栗田英治（農研機構），他